

支線バスの導入状況（令和7年10月1日時点）

■ 再編後のバスネットワーク (10方面/17支線)

①一宮方面 R9.4～

- 支線を備前一宮駅まで延伸
- 幹線、支線ともに増便

⑨庭瀬方面 R8.4～

- 庭瀬駅へ接続する支線を新設
- 幹線の便数適正化

⑧妹尾方面 R8.10～

- 妹尾駅へ接続する支線を新設
- 幹線の便数適正化

⑩拠点間をつなぐ支線の新設 運行中

- 妹尾駅～北長瀬駅、妹尾駅～岡南をつなぐ支線の新設

②津高方面 R8.10～

- 支線を大型商業施設や国立病院まで延伸

③高島方面 運行中

- 支線を備前原駅まで延伸
- 支線を増便

④東山方面 運行中

- 幹線の重複路線を集約
- 支線を協立病院まで延伸
- 路面電車との乗り継ぎ環境整備

⑤牛窓方面 R8.10～

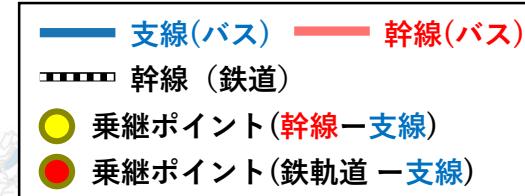
- 支線を岡村一心堂病院、西大寺病院へ延伸

⑥沖元・平井方面 R9.4～

- 並走区間の路線集約
- 幹線の増便

⑦岡南方面 R8.10～

- 支線を労災病院まで延伸
- 支線の増便



全体の効果

路線バスの運行区間
16km増
(340km⇒356km)

路線バスが接続する駅
4駅増
(33駅中10駅⇒14駅)

公共交通アクセス圏人口
約1.7万人増
(54.3万人⇒56.0万人)

乗換なしで病院に行ける
バス路線の沿線人口
約5万人増

⑩拠点間をつなぐ支線の新設 R8.4～

- 芳泉～岡南をつなぐ支線の新設